

電子ジャーナルは これからどこへ向かうのか？ ～深田氏・林氏による学術情報動向に関する講演会～

今、多くの大学図書館で、電子ジャーナルの契約は最も重要な業務の1つになっています。どのようにして日本で電子ジャーナルの普及が始まったのか。そして電子ジャーナルの舞台裏はどうなっていて、これからどこへ向かうのか。

また、大学の教員等の研究者は、電子ジャーナルの読者であると同時に著者でもあります。オープンアクセスや新しい研究評価指標が登場したことで、研究者とジャーナルの関係が変化しつつありますが、このような研究者と学術雑誌の新しい関係が、今後の電子ジャーナルのあり方にも大きな影響を与えるといっても過言ではありません。

電子ジャーナル、そして学術情報そのものがどこへ向かうのか、ともに学び、考えましょう。

講師：深田良治氏 ケンブリッジ大学出版局
(元エルゼビア・ジャパン社長、元シュプリンガー・ジャパン社長等)

林和弘氏 文部科学省 科学技術・学術政策研究所
科学技術動向研究センター長補佐
(元日本化学会学術情報部課長、SPARC Japan運営委員)

日時：2015年7月18日(土) 13:30～16:45 (13:15～開場)

※終了後、懇親会を予定しています (実費負担:会場・時間等は別途連絡します)

場所：キャンパスプラザ京都 2階ホール (JR京都駅ビル駐車場西側)

<http://www.consortium.or.jp/about-cp-kyoto/access>

参加費：大図研会員は無料 (非会員は500円)

**申込：大図研京都支部Webサイト(下記URL)から
お申込みください。**

<http://www.daitoken.com/kyoto/event/20150718.html>

※ 参加申込締切：2015年7月11日(土) 当日参加も可能ですが、資料の準備や懇親会会場確保のためなるべく締切日までの申込をお願いします。